

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2022
Jtitle	新版 窮理図解 No.35 (2022. 11) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應理工の4次元トポロジー：特異点に着目して4次元空間を理解する 数理科学科 早野健太 (准教授)
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000035-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の My favorite books 本棚



● スプラトゥーン2

WiiU のソフトである1からやっています。ウデマエは基本S+で、ヤグラとホコのみ何度かXになったことがあります。(が、維持できずすぐS+に戻りました) やったことがある人にはわかるかと思いますが、「初心者ではないけどそれほど上手でもない」ウデマエです。1試合が最長でも5分程度と短めで、在宅での研究の息抜きに数試合だけやることもあります。

● 4-Manifolds and Kirby Calculus

カービー図式の本格的な教科書。修士の頃のセミナーでも少し読みました。558ページもあります。私も全てを読んでいません。研究でたまに辞書代わりに使うこともあります。

● 4次元のトポロジー

トポロジーにおいて4次元に注目する動機が解説されている本で、序文にも「読者には高校程度の数学の知識の他は何の予備知識をもつことも仮定していない」と書かれている通り、基礎事項から丁寧に説明されています。とはいえずすがに高校生が細部まで全て理解するのは大変だと思いますが、大ざっぱに(4次元)トポロジーとはどんな学問か、を知るには最適な本だと思います。

● Algebraic Geometry I. Complex Projective Varieties

私が学部生の頃に、博士課程の先輩方との自主ゼミで読んだ、代数幾何の入門書です。当時の私の発表はかなりひどく、毎回先輩方から数多くのダメだしを受けていました。この自主ゼミで数学という学問への正しい向き合い方が身についた気がします。証明や定義の与え方が非常に秀逸で、(フィールズ賞受賞者でもある)著者の優れた才能を垣間見ることができます。

● 北斗の拳

ラオウを倒して終わりと思っている人が多いのではないのでしょうか？ラオウが「わが生涯に一片の悔いなし!!」と言って昇天するのは(文庫版だと)全15巻あるうちの9巻の初めの方で、その後、修羅の国に行ったり、ラオウの息子が出てきたり、とストーリーはラオウ昇天後もまだまだ続きます。他にも『あしたのジョー』や『ブラックジャック』など、レトロな漫画はけっこう好きで、研究室に置いてあります。

● Morse 理論の基礎

Morse理論とは関数の特異点(臨界点)に着目して多様体を調べる理論で、カービー図式を得るための土台となるものです。学部3年の頃に読んだ本で、この本をきっかけにトポロジーに興味をもちました。

● 英語のリスニングは発音力で決まる! UDA 式30音練習帳

修士の頃にアメリカに2か月滞在しましたが、当時の自分の英語が全く通じず絶望し、帰国後すぐに購入した本です。帰国の4か月後からドイツに半年滞在することが決まっていたので、その4か月間は必死に発音練習をしました。未だにこの本に書かれていることを全て習得できてはいませんが、練習したおかげが少しは通じるようになりました。英語の発音の難しさを実感できる一冊です。